

オプトアウト用公開文書

研究課題：視野検査における測定条件の違いによる感度への影響

研究目的：視野検査における検査機器や遮閉の有無といった測定条件の違いが感度に及ぼす影響について検討します。

研究方法：近畿大学医学部附属病院眼科でアイモによる視野検査を実施した患者様のうち、遮閉の有無とハンフリー視野計による検査を実施していた患者様の電子カルテに記載のある診療記録、検査データによって検討します。他の機関への情報の提供は行いません。また情報を二次利用することはありません。

調査対象期間：2016年6月から2018年6月

研究実施期間：倫理委員会承認後2年間

調査項目：カルテから医学的背景に関する内容を調査します。

年齢、性別、診断名、随伴疾患、視力、視力矯正値、屈折値、視野検査（アイモ視野計、ハンフリー視野計）における感度、視野検査の信頼性（偽陰性、偽陽性）、眼圧検査、画像診断検査、両眼視機能検査、眼位検査

個人情報の取り扱い：個人が特定できる情報は削除いたします。また研究成果は学会等で行う予定ですが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

研究責任者：若山曉美（近畿大学医学部附属病院眼科）

問い合わせ先：近畿大学医学部附属病院眼科

〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221（代表）

担当者：若山曉美

当該研究に用いられることについて患者様のご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、上記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。